

令和3年12月10日

愛知県上海産業情報センター

林 秀 幸

一般調査報告書

上海国際自動車都市（上海市嘉定区）について



上海国際自動車都市にある上海自動車博物館（筆者撮影）

上海市の北西部に位置する嘉定区は自動車産業の集積地として有名です。2001年、上海市政府は「第10次五か年計画」の主要プロジェクトとして、嘉定区に総合自動車産業拠点となる「上海国際自動車都市（上海汽車城）」の建設を始めました。当初、68km²から始まった計画エリアは、その後数年のうちに中核エリア、完成車・部品製造ゾーン、国際サーキット、教育公園、ニュータウンエリアの5つの地域を含む98km²に拡大し、さらに現在ではそのエリアは、自動運転の走行実験における中国の代表的なエリアの一つとして、嘉定区464.2km²全域に拡大しつつあります。

今回は、上海のモーターシティ「上海国際自動車都市」の中から、自動車に関連する施設を幾つかご紹介します。

上海自動車博物館

上海自動車博物館は、2007年に開館した自動車に関する歴史と実車展示を行う博物館です。総展示面積は1万m²で、館内は歴史館、宝物館、探索館、コン

ベンション&レジャーエリア、臨時展示エリアの5つの機能から成っています。1階の歴史館では、自動車の誕生から100年余りに亘る発展の歴史を紹介しています。草創期から大量生産化、スピード化、省エネ化に至る自動車開発過程の歴史を実車展示を見ながら学ぶことができます。

館内はらせん状の廊下で上層階とつながっており、2階に移動するとそこは宝物館になります。宝物館は、「沸騰時代」、「黄金時代」、「すべての道」、「揺れる車の影」、「ミニの味」、「国家の夢」、「伝説の車」の7つのセクションがあり、約40台の貴重なアンティークカーが展示されています。

3階は探索館となっており、自動車の設計や製造、遊び体験などの展示エリアです。最近では新エネ車の展示も行われており、古代の馬車から次世代自動車まで、まさに自動車の歴史を丸ごと体験できる施設です。

上海自動車博物館

上海市嘉定区安亭鎮博園路7565号

月曜休館

地下鉄11号線「安亭駅」1号出口徒歩20分 ※入館有料



1900年初頭の黎明期の自動車



1969年のトヨタカローラ (右)

EV-AI智行港 (Future Mobility Park)

EV-AI智行港は、安亭・上海自動車博覧公園に2018年にオープンした施設です。それ以前にもEVの試乗センターとして「EVサービスステーション」が運営されていましたが、自動運転車体験センターとしてリニューアルされました。

ここには160台以上の体験モデル車が用意され、これまで、3万人以上の自動運転の試乗体験を実施しているとのこと。団体での試乗体験も可能で、既に1900以上の団体が来場しているといいます。

施設のある安亭・上海自動車博覧公園は、公園全体が自動車の試乗体験コースにもなっており、場内には、モデル運営センター、試乗センター、未来交通センター、智能エネルギーセンター、サービスセンターの5つの機能施設があります。また、先に紹介しました上海自動車博物館も隣接しています。

EV-AI智行港

上海市嘉定区安亭鎮博園路7565号

不定休

地下鉄11号線「安亭駅」1号出口徒歩20分 ※体験有料



EV-AI智行港



EV-AI智行港総展区

上海国際サーキット（上海国際賽車場）

上海国際サーキットは2004年にオープンした国際サーキットです。F1グランプリの中国シリーズの舞台として有名です。サーキットは、上海の「上」の字を模して設計されており、1周5.3Kmのコースです。メインスタンドの収容人数は2.8万人、サブスタンドは2万人で、レース開催時の臨時観客席を含めると最大20万人が観戦できるという巨大なサーキットです。

レース開催のない日には、一般向けの見学コースが用意されており、実際のコースを専用バスで見学することができます。見学バスでは、途中で実際にコースに降り立って説明を聞くことができ、F1などのレースファンには人気のイベントとなっているようです。

上海国際サーキット

上海市嘉定区伊寧路2199号

地下鉄11号線「上海賽車場駅」4号出口徒歩7分 ※見学有料



上海国際サーキット

上海ポルシェ体験センター（上海保时捷体験中心）

上海ポルシェ体験センターは、ドイツの大手自動車メーカー、フォルクスワーゲンの高級スポーツカー部門であるポルシェの体験センターです。

ここでは、ポルシェの「911」や「718」といった車種の試運転ができるようになっており、ポルシェの愛好家や購入を考えている人々が訪れています。施設の敷地内には試乗コースが整備されており、通常走行のほか、急発進や急加速、ドリフト走行など、公道ではできない運転操作を堪能することができるようになっています。館内には実車の展示や運転シュミレーターがあるほか、レストランや休憩ラウンジもあり、富裕層向けのクラブ施設のような雰囲気の施設です。

上海ポルシェ体験センター

上海市嘉定区伊寧路2000号 上海国際サーキット内
地下鉄11号線「上海賽車場駅」6号出口徒歩25分 ※体験有料



上海ポルシェ体験センター



施設内の試乗エリア

EF Park（動力方程新能源賽車公園）

EF Parkは、中国初の電動フォーミュラレーシングサーキットです。純電動のスマートカーによるレース体験ができるほか、飲食スペース、バーチャル体験など最新のテクノロジーを体感することができる施設です。

最近では、社員の団結力を高めるために、企業研修で利用されたり、若者のレジャー施設としての利用が増えているとのこと。また、バーチャルサッカーやドローン操縦（計画中）なども体験できるほか、F1のバーチャル運転なども行えるそうです。

EF Park

上海市嘉定区安亭鎮進明渡路1001号
地下鉄11号線「安亭駅」1号出口徒歩15分 ※体験有料



EF Parkのレーシングコース

「上海国際自動車都市（上海汽車城）」には、これらの施設の他にも、自動車や自動運転などに関する施設や企業が数多く集積しています。また、嘉定区では街の至る所で自動運転の走行実験を行う車両が走っており、参入する企業も増えています。拡大する自動運転やスマートカー市場とその実験場となっている嘉定区の今後に更なる期待が集まります。

引き続き、現地の状況を注視してまいります。

参考：最近の中国内の主な動き

2021年

- 11月11日 ・中国共産党第19期中央委員会第6回総会（6中総会）が党創建100年を総括する「歴史決議」を採択して閉幕
- 11月12日 ・遼寧省大連市は、新型コロナの感染拡大を受け、市民に対して必要がなければ家から出ないよう通達
- 11月17日 ・上海市金山区でレゴランドの建設工事が着工
・香港ディズニーランドが来園者のコロナ感染で臨時休業
- 12月 6日 ・トヨタ自動車は、中国での11月の新車販売台数を前年同月比3.1%減の17万2,200台と発表

上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。